

# 陸生ホタル研

No.152

2026年4月29日

陸生ホタル生態研究会

電話/FAX: 042-663-5130

Em:rikuseihotaru.07@jasmine.ocn.ne.jp

## 今年は羽化が早いか

### 寺沢川の小型ゲンジボタル

小俣軍平

はじめに

異常気象続きの今年も各地の会員の皆さんのホタル情報を見ていると、ゲンジボタルの上陸が早まっているようです。そこで先日の4月21日、例の小型ゲンジボタルの生息地である、八王子市堀之内の寺沢川流域とその支流の谷戸を、夜間に訪れてみました。以下その報告です。(写真は別の日の昼間に撮影したものです)

1: 図 下流域にある、昨年ゲンジボタルの乱舞が見られた広場です。寺沢川の流れはこの広場の奥の、暗くなっているところです。



2：図 1：図の奥の流れの状況

護岸の高さは3mほどあります。幼虫はこれを登ってきて岸の柵をくぐりぬけ、右側の広場に入り蛹になります。幸いここを人が歩くことはほとんどありません。安全です。



3：図 2：図から100mほど下流域の状況です。岸边に倒木が1本ありました。柵が壊れなくてよかったです。



4：図 川を渡る橋のたもとに布製のバックがありました。農家の方々が川の水を汲み上げて農作業に使います。



5：図 中流域の川岸にはよく手入れされた畑地が広がります。



6：図 畑には農作業用の耕耘機が覆いをかけて放置されていました。盗られる心配はないのでしょうか。



7：図 作物を作っているのは地元の方でなく、市外からの素人の方だそうですが見事な出来栄ですね。



8：図 中流域の流れの状態です。水深は30から40cmくらいです。この辺りは川底に砂・岩石がありません。ホタルの幼虫は、身を隠すところはありませんが、生息はしているようです。去年は成虫が羽化してかなりの数が飛びましたから・・・。



9：図 右側に道路と人家がありますが、電柱に街灯の照明は無く、ホタルにとっては絶好の生育環境です。



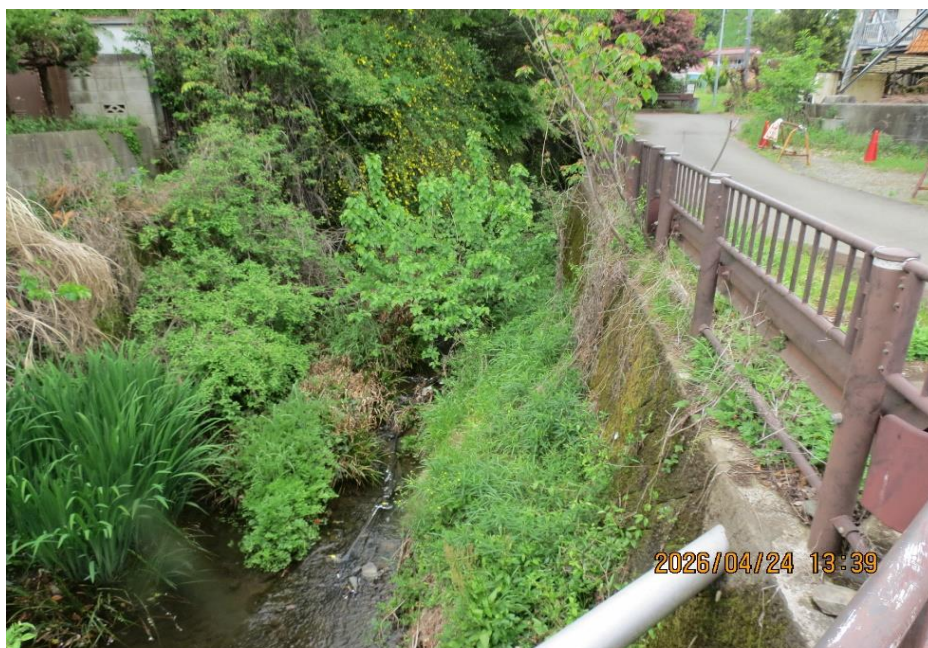
10：図 ここも中流域ですが、山側の放置された桑畑の草木が護岸を覆い隠しています。見栄えはしませんが、蛍の幼虫が蛹化のために上陸するには好都合です。



11：図 ここも水路が護岸の草木に覆われていますが、蛍の生息には好都合です。



12：図 ここは川底に土砂が堆積し、草木が生えています。蛍の幼虫は水路から上がらず、中で蛹になります。



13：図 上流の端末付近です。水深は 20 c mほどですが、ここではゲンジボタルの羽化は見られません。今回の調査はこれで終了です。



## まとめ

この日の寺沢川の状態からみて、今年のゲンジボタル幼虫の上陸は終了しているようです。いつもより1週間ほど早くなったようです。田野入谷戸も同じく早くなるようです。源流域の栗林の細流は、逆に春先の晴天続きで干上がっていましたので、その分遅れるのではないのでしょうか。

なお、寺沢川流域の丘陵部の陸生ホタルの3月の状況調査ができませんでしたので、6月の羽化がどうなるのか、今のところなんともいえません。

また、八王子市内の今年の春の野鳥や野生動物・昆虫類の状況ですが、丘陵地を歩いていて、蛇を一度も見たことがありません。蝶はモンキチョウ・シジミチョウを時々見ます。しかし数はごく少ないです。我が家の庭にくる渡り鳥も、コムクドリが見られるだけで、ツバメの姿はまだ見られません。

## あとがき

今年の春は、イラン・イスラエル問題が拡大し、直接のかかわりはない日本でも石油の輸入が途切れ、ガソリンの価格が高騰しました。テレビのニュースでもこの問題ばかりです。一方で国内の東北地方では、いまだ地震災害の復旧がままならないところに、山火事が発生して、消火のめどがたっていません。

昨年秋の最初の山火事は、わたくしの故郷、山梨県大月市の扇山でした。TVの報道は燃え盛る立木の様子は取り上げていますが、林床に生息する土壌動物のことは、まったく触れていません。どうしたのでしょうか、八王子市内の調査が一段落したら、私のふるさと扇山に調査に行ってみようかと思っております。

地方の会員の皆様、お近くで山火事がありましたら、ぜひ林床の土壌動物の調査をして報文をお寄せ下さい。お願いいたします。

最後に、6月になりましたら、お近くの河川のゲンジボタルを調査し、大型・小型の区別を調べて教えていただきたく、よろしくお願いいたします。